

教科	数学	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 正負の数	25	・正負の数の必要性和意味を理解する ・正負の数を数直線上に表すことができる。また、大小関係を不等号を使って表すことができる。 ・正負の数の四則計算を理解している。	・正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。 ・正負の数の四則計算をすることができる。	・数の集合と四則計算の可能性について捉えなおすことができる。 ・正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。	・正負の数の必要性和意味を考えようとしている。 ・正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
2章 文字と式	18	・文字を用いることの必要性和意味を理解し、具体的な数量を文字を使った式で表すことができる。 ・項と係数の意味を理解し、文字の部分が同じ項を1つの項にまとめることができる。 ・1次式の計算ができる。	・文字を用いることの必要性和意味を理解している。 ・文字を用いた式の文字の数に代入して、式の値を求めることができる。 ・1次式の計算をすることができる。	・具体的な場面と関連付けて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字式を用いた式を活用し、表現することができる。	・文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式を活用して問題解決の過程を振り返ろうとしている。
3章 方程式	14	・方程式と解の意味を理解し、解を求めることができる。 ・以降の意味を理解し方程式を解くことができる。 ・具体的な問題を、方程式を利用して解くことができる。	・方程式の必要性和意味を理解している。 ・移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 ・1次方程式・比例式を解くことができる。	・1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・1次方程式を活用して、問題を解決することができる。	・方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
4章 比例と反比例	22	・身のまわりの問題を関数の考えを利用して解決することができる。 ・比例・反比例の意味を理解し、式に表すことができる。	・比例・反比例について理解している。 ・比例・反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	・比例・反比例について変化の特徴を式やグラフなどから見出すことができる。	・比例・反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・比例・反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
5章 平面図形	17	・移動の意味と性質を理解している。 ・基本的な作図を理解している。	・移動について理解している。 ・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 ・基本的な作図の方法と理解している。	・図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。	・平面図形の性質や関係をとらえることの必要性和意味を考えようとしている。 ・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

6章 空間図形	18	・立体をいろいろな見方で分類することができる。 ・空間内にある平面と直線・平面の位置関係を理解している。 ・立体の計量について理解し、求めることができる。	・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・柱体や錐体、球の表面積や体積を求めることができる。	・空間図形を平面上に表現して、空間図形の性質を見出すことができる。 ・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	・空間図形の性質や関係をとらえることの必要性和意味を考えようとしている。 ・空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
7章 データの分析と活用	10	・データを度数分布表やヒストグラムに表し、分布の特徴を読み取り、説明することができる。 ・代表地や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り説明することができる。	・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。 ・代表地や範囲の必要性和意味を理解している。	・目的に応じてデータを収集して分析し、読み取ることができる。	・ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。